

hot topics

三国ミニバスが九州大会出場

1月30日、市内で活動する「三国ミニバスケットボールクラブ」が「第45回U12全九州バスケットボール大会」への出場を市長へ報告しました。

同クラブは、小学6年生までの女子児童23人が所属しており、1月に行われた「第55回マクドナルド福岡県U12バスケットボール選手権大会」では第3位に入賞し、九州大会への出場を決めました。

選手たちは「練習通りの力を出せた」「応援を頑張った」と話し、キャプテンは「九州大会は1番をめざす」と大会への意気込みを語りました。



hot topics

三国小6年生が議場見学

1月17日、三国小学校の6年生が市役所を訪問し、議場の中で市役所や市議会の役割を学びました。

初めて入る議場に、児童たちも最初は緊張した様子でしたが、説明が始まると一生懸命メモを取っていました。

質問の時間では「市で一番お金が使われるのは何か」「働いていて一番大変なことは何か」「選挙で選ばれるための工夫はあるか」などが挙がり、市役所や市議会の仕事に興味津々。見学を終えた児童は「市役所や市議会を身近に感じられて、勉強になった」と感想を述べました。



hot topics

あじさか号5周年セレモニー

2月1日、味坂校区買い物支援事業運営委員会で行っている移動販売車「あじさか号」の、運行5周年を記念したセレモニーが開催されました。あじさか号は、高齢化が進む味坂校区の買い物弱者を支援するため、地域のボランティア有志のもと始まった取組です。今や買い物をする場所としてだけでなく、地域の憩いの場・見守りの場としての役割も広がっています。

式典で記念品を贈られた常連客は「あじさか号が来る日を毎週心待ちにしている。長く続けてきたのもボランティアの皆さんの協力のおかげ。これからもずっと続けてほしい」と話しました。



hot topics

三井高生が「七夕納豆」を販売

1月24日、三井高等学校の生徒たちが学業成就と恋愛成就の願いを込めて作った「七夕納豆」を、市長が試食しました。

この納豆は「七夕神社」と「老松神社」でお祓いを受けた小郡産の大豆を使い、市内の農家や朝倉市の光陽高等学校などの協力を得て完成しました。試食に立ち会った生徒たちは、市長からの問いかけに「大豆の収穫が大変だった」「タレがついていないのが今後の課題」と振り返っていました。

1月26日には市内の商業施設で販売。売り子として三井高生も参加し、500個の七夕納豆は完売しました。





hot topics

三沢区の夏祭りが福岡県から表彰

2月14日、三沢区夏祭り実行委員会が「ふくおか地域づくり活動賞」を受賞し、市長に報告しました。この賞は、県内各地で取り組まれている地域づくり活動の中から、特に地域振興に貢献している団体を表彰するものです。

若い世代の移住が増えている三沢区では、新旧住民が年齢関係なく交流できる場をつくろうと、10年前から地域の日吉神社を活用した夏祭りを開催しています。

実行委員の中原さんは「夏祭りをはじめとした多世代が参加できる取組により、交流が進んでいる。次世代にもつなげていきたい」と語りました。



hot topics

「しょくいくカフェ」がリニューアル

2月1日、新しくなった「しょくいくカフェ」のお披露目式を開催しました。

このカフェは、市とボランティア団体「小郡市食生活改善推進会」が協働運営する、子どもから大人まで気軽に立ち寄れるカフェで、野菜カレーなどを販売しています。

この日はお披露目式の他に、お菓子作りや食育の紙芝居があり、多くの人に参加しました。

参加者からは「しょくいくカフェのことを知らなかった。今後は利用していきたい」「子どもと一緒に参加できるイベントをもっと開催してほしい」といった声がありました。



hot topics

天体に関する講座で宇宙を体験

2月15日、地域おこし協力隊の笹月さんが主催する講座「宇宙に浮かぶ天体について知ろう」を生涯学習センターで開催しました。

ダジック・アースというシステムを使って、宇宙の天体や惑星を3Dで投影して楽しく学べる講座の後、システムの操作体験も。立体的で迫力のある惑星などに参加者は興味津々でした。

天文宇宙検定4級の資格を持っている9歳の参加者は「クイズが意外と簡単だった。将来は検定2級も取得したい」と今後の展望を話しました。

今号は、5ページに笹月さんのコラム「小郡星空観測記」も掲載しています。ぜひご覧ください。



hot topics

三井高ボラ部が厚生労働大臣表彰

三井高等学校ボランティア部がボランティア功労者に対する厚生労働大臣表彰を受け、2月14日に市で表彰状の伝達を行いました。

ボランティア部は活動通算31年目を迎え、地域に根差した幅広いボランティア活動に取り組んでいます。手話の啓発活動も盛んで、小・中学生への手話出前講座や地域のイベントなどで手話パフォーマンスを披露し、手話を通して地域との繋がりを深めています。

表彰を受け、3年生は「私たちの代に受賞できたことはとても光栄なこと。これからもボランティア活動を続けていきたい」と語りました。

